

**地域の未来とつながるお茶のかたち。
新東名静岡SAで『SUSTEA』を一般消費者向けに初展開！**

2025年4月7日（月）販売開始

Blue Farm株式会社（本社：静岡県浜松市 代表取締役：青木 大輔、以降はBlue Farm）は、静鉄グループの株式会社静鉄リテイリングが運営する新東名高速道路・静岡サービスエリア内「しずおかマルシェ」（上り・下り）において、同社の気候変動に挑戦するお茶『SUSTEA（サスティー）』を、一般消費者向けに初めて展開致します。



本商品は、これまで法人向けを中心に提供されてきましたが、今回、地域限定での店頭展開を行うことで、一般消費者向けにもその価値を体感いただく機会を創出します。

【本件に関するお問い合わせ先】

会社名 ： Blue Farm株式会社
所在地 ： 静岡県浜松市中央区鍛冶町 100-1 ザザシティ浜松中央館 B1F
会社HP ： <https://blue-farm.co.jp/>
広報担当 ： 森 篤史
電話番号 ： 090-7582-6779
Eメール ： pr@blue-farm.co.jp

茶畑から始まる環境アクションを、旅の途中で手に取る体験に

『SUSTEA』は、茶畑の機能を活用し、炭素削減効果や生物多様性保全などの環境価値を可視化した“サステナブルなお茶”です。単に飲料としての役割を超え、企業や地域が持続可能な社会をつくるための「共感型アクション」としての側面を持っています。今回の展開は、地域観光や出張・ドライブなどで静岡に立ち寄る多くの人々が、気軽に環境アクションへ参加できる機会として、地域の課題解決と消費行動をつなげる試みです。

一般消費者向け初展開の背景

これまで『SUSTEA』は、ESG経営を目指す企業に向けた法人向けの展開が中心でしたが、「地域の魅力を体験しながら、自然に環境価値を共有できる商品」として、観光地・交通拠点での展開に高い親和性を持っています。今回、交通インフラの要所である新東名静岡SAでの取り扱いが実現したことで、静岡発の環境アクションを全国に発信する第一歩となります。

販売場所情報

■ 販売開始：2025年4月7日月曜日（予定）

■ 販売場所：新東名静岡サービスエリア「しずおかマルシェ」上り店・下り店
（運営：株式会社静鉄リテイリング）

<https://www.shizutetsu-retailing.com/shizuoka-sa/>

◆株式会社静鉄リテイリング 観光売店事業部 関本 豊 氏コメント

当社はこれまで、新東名静岡サービスエリアの『しずおかマルシェ』をはじめ、静岡県内の観光売店事業を通じて、地域の魅力を発信してまいりました。しずおかマルシェでの『SUSTEA』の展開は、地域資源を活用したサステナブルな商品の提供という新たな試みです。今後は、当社が運営する富士山静岡空港内の『しずおかマルシェ』や、焼津さかなセンター内の『大漁店』など、静岡県内外の観光拠点への展開も検討しております。これにより、訪れる多くの方々に静岡の魅力と環境への取り組みを感じていただける機会を増やしていきたいと考えています。

◆Blue Farm株式会社 代表取締役 青木大輔のコメント

今回の取り組みは、地域の自然資源と人の流れが交わる場で、環境価値を“手に取って実感”していただける大切な機会と考えています。これまで企業単位での導入が中心だった『SUSTEA』を、静岡という地で、観光や帰省、日常の移動中に出会える商品として展開することで、より多くの方に“サステナブルな消費”の一步を踏み出していただければと思います。

今後の展開

サービスエリアや空港、駅構内、道の駅といった人と地域の接点となる場所での展開を拡大し、地域の茶畑が持つ環境価値を全国規模で伝えていきたいと考えています。また、ギフト商品や季節限定品の開発、観光体験と連動したプログラム化なども視野に入れ、サステナビリティを“体験し、持ち帰れるもの”として広げていく予定です。

【Blue Farm株式会社について】

Blue Farm株式会社は、2021年に「社会を健康にする会社」というビジョンを掲げ、静岡県で創業しました。山間地の茶畑と企業を結びつけることで、持続可能なお茶産業の構築と企業のESG対応を支援する取り組みを行っています。

今後、私たちは日本全国で約900億円の価値があるとされる茶畑の環境効果を顕在化させていくことで、茶畑の減少問題に対応し、持続可能な農業も支援していきます。

「お茶を通じて未来を変える」Blue Farmの挑戦について、詳しくは公式ウェブサイト（<https://blue-farm.co.jp/>）をご覧ください。